

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部農林水産局 農業経営課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 世古 静 夫 (皆木 治 男)	内線	3929 (3944)
------	---------------------	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	経営構造対策事業	事業名	事業区 間	総事業費	約 3 億円
		経営構造対策事業	西谷地区	内用地補償費	一 億円
所 在 地				事業採択 予定年度	着工予定 年度
宝塚市下佐曾利				H15	H16
事業目的			事業内容		
<p>新たな「農」の時代の創造に向けて、複合アグリビジネスの展開を図るとともに生産者と消費者が共に集う都市農村交流施設を総合的に整備し、担い手となる経営体の確保・育成を図り地域農業の活性化に資する。</p> <p>本地区は県が進める「ガーデンビレッジ構想」において「地域農業の活性化を推進する地域」と位置付けられていることから、農畜産物の有利販売、加工による附加価値の向上等を図り、農業所得を高めるなど、地域農業全体の活性化を目指す。</p> <p>事業主体：宝塚市・JA兵庫六甲</p>			<p>総合交流拠点施設（交流施設） 規 模：230 m²（国 50% 県 0% 市 50%）</p> <p>農畜産物処理加工施設（特産品加工施設） 規 模：250 m²（国 50% 県 6% 市 44%）</p> <p>産地形成促進施設（直売施設） 規 模：295 m²（国 50% 県 6% 市 44%）</p> <p>地域食材供給施設（調理販売施設） 規 模：100 m²（国 50% 県 6% 市 44%）</p> <p>複合経営促進施設（温室施設） 規 模：1,500 m²（国 50% 県 0% 市 50%）</p>		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	<p>宝塚市西谷地域は、米作中心の農業が営まれているが、近年、小規模な直売所による黒大豆、トマト等の販売を通じた「西谷やさい」のブランド化が進み、消費者の評価も高まりつつある。また、三田肉、神戸肉の供給基地としての畜産農家の育成強化も図っているところである。</p> <p>しかし、消費者ニーズに対応した多品目、必要量の確保がむづかしいことから、生産・流通・加工・販売・消費、リサイクルを一元的に推進することが緊急の課題となっている。</p> <p>このため、農畜産物の直売機能、加工機能、地域食材の供給機能、地域農業のPR・交流等のための総合交流機能等を網羅した施設整備を行い、地域内の農畜産物の生産拡大・付加価値の向上により、経営体の所得の増大及び雇用機会の拡大、都市住民との交流を進める必要がある。</p>				
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施により次の効果が期待できる。 農畜産物の直販・加工販売等有利販売 農家所得増 3 4 百万円・年 都市農村の交流（入込客見込み約 4.8 万人） 認定農業者の育成（現況 15 人 目標 23 人） 新たな雇用の創出（10 人） ・投資効率 1.36 ・用地は確保済み（市有地） 地元協力体制も整っている。 ・市営住民センター等と一体的に整備するため、相乗効果が期待できる。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・有機栽培・減農薬栽培を基本とした安全で安心できる新鮮な農畜産物の販売、食材づくりを目指すとともに、農畜産物にかかるリサイクルを徹底し、周辺環境への負荷を軽減する。 				
(4)優先性	<p>宝塚市が建設する住民センターとの一体的整備を図ることによる相乗効果、また、安全・安心な野菜の供給と農畜産物にかかるリサイクルシステムづくり、都市住民との交流によるアグリビジネスチャンスの増大による担い手の育成等、優先性は高い。</p>				